令和６年度 第２回豊川市文化財保護審議会 会議録

令和６年１２月２０日開催

豊川市教育委員会生涯学習課

令和６年１２月２０日　午後１時３０分　開議
会場：音羽支所４階　教育委員会室　他

出席委員

会　　長	片　山　　洋
委　　員	天　野　武　弘
委　　員	駒　木　正　清
委　　員	竹　尾　利　夫
委　　員	野　澤　則　幸
委　　員	原　田　千夏子
委　　員	杉　野　　丞

事　務　局

生涯学習課長	石　黒　泰　基	
〃　課長補佐	細　井　美那子	外４名

議事日程

（１）指定文化財等視察研修（岩略寺城跡・登屋ヶ根城跡・龍源寺）
（２）豊川市文化財保存活用地域計画における措置の進捗管理について
（３）その他

議題及び議事の要旨

指定文化財等視察研修（岩略寺城跡、登屋ヶ根城跡、龍源寺（黒門、山門））

〈岩略寺城跡〉

【事務局】・市指定史跡昭和 55 年 2 月 1 日指定
・戦が行われたという記録は確認できない。
・誰の築城かはっきりしないが、今川氏が長沢に築城を命じ、長沢の住民が関わったという記録がある。
・『三河国二葉松（1740 年)』などで江戸時代から 「岩略寺城」 と言われていたことがわかる。
・令和４年度より長沢小学校児童による長沢地区の歴史学習及び岩略寺城跡整備活動を実施し、それに合わせて長沢財産区による樹木剪定等も本格化した。
・看板に来訪者アンケート QR コードを設置した結果、遠方からの来訪者もあることが分かった。

【委　員】・小学校及び財産区の活躍により残存状況がとても分かりやすくなった。しかし、実際に歩いてみると危険な箇所も多い。多くの人に見てもらうためにも今後も整備が進むといい。
・小学校を中心に、地元の皆さんが地域の歴史に興味を持ってもらうことが理想的である。この活動が続くように市としても積極的に連携していってほしい。

〈登屋ヶ根城跡〉

【事務局】・現況を大きく変更することなく、圃場整備を実施するという計画がある。
・建物の建築時に立会を実施しているものの、遺構・遺物は確認されていない。
・東側の平場は調査が行われたことはなく、遺構の状況は不明。
・令和７年度に確認調査を実施した後、圃場整備の事業計画と擦り合わせ、本発掘調査が必要となる可能性もある。

〈龍源寺（黒門、山門)〉

【委　員】・門の形式としては楼門で、県内では建中寺（尾張徳川の菩提寺）と大樹寺（岡崎市）の門が類似例といえるが、いずれも二重門である。こうした門は限られた場所にしか造られないことから、格の高さがうかがえる。
・下の屋根は平行垂木で和様、上の屋根は扇垂木で禅宗様であるが、総体的に禅宗様の門といえる。
・龍源寺の記録から、寛保３（1743）年の建築と思われ、現在は未指定であるが、市指定建造物の価値は十分にある。

議案（１）豊川市文化財保存活用地域計画における措置の進捗管理について

【事務局】　それでは視察研修に引き続き、只今から令和６年度第２回文化財保護審議会を開会します。
豊川市文化財保存活用地域計画が７月に文化庁より認定されました。毎年度、取り組みの実施状況について自己評価を実施し、進捗管理シートを作成することで措置の進捗状況の把握に努めます。それを踏まえて文化財保護審議会での確認評価を受け、必要に応じて計画内

容の変更を文化庁へ申請しますが、大きな内容変更については、中間見直しで実施予定です。なお、軽微な変更の場合は、文化庁と愛知県へ情報提供するのみで、認定を受ける必要はなく、すでに１１月に一度軽微な変更を実施しました。

【委　員】　この計画策定に係る市民への周知方法について、どのような事業を予定していますか。

【事務局】　文化財保存活用地域計画の啓発のため、１２月から市内の中学校区ごと（９回）に地域生涯学習講座を開催します。各回の内容としては、地域計画の説明、校区の文化財などの紹介、地区ごとの歴史をテーマとした講演です。

【委　員】　次年度以降の開催予定はありますか。

【事務局】　地域からの要望に応じて、来年度以降も出前講座などで地域に出向くような方法を考えています。

【委　員】　一度で終わってしまうのでなく、継続していくことが必要です。来年度も継続してください。

【委　員】　現地を見てもらうことも、市民が文化財に興味を持つきっかけとしては重要だと思います。話を聞く座学だけでなく、現地見学など様々な方法を検討してください。

議案（２）その他

【事務局】　昨年度、三河国府跡が国史跡に指定されました。保存活用地域計画には三河国府跡の公有地化事業について措置の記載がありますが、本年度より国庫補助事業として公有地化を進めています。

【事務局】　以上をもちまして、令和６年度第２回文化財保護審議会を閉会します。